

全国の養豚農場のASF精密検査の結果、全て陰性

- 全国の農場を対象にリスク要因を考慮して段階的に検査実施(5月31日～8月10日) -

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QEB8JTJGYmJzJTJGbWFmcmEIMkY2OCUyRjMyMTEyNyUyRmFydGNsVmllldy5kbyUzRnJnc0VuZGRlU3RyJTNEJTl2YmJzT3BlblldyZFNlcSUzRCUyNnBhZ2UIM0QxJTl2cm93JTNEMTAIMjZwYXNzd29yZCUzRCUyNnJnc0JnbmRIU3RyJTNEJTl2YmJzQ2xTZXEIM0QIMjZzcmNoQ29sdW1uJTNEJTl2aXNWaWV3TWluZSUzRGZhbHNIJTl2c3JjaFdyZCUzRCUyNg%3D%3D>

(以下、機械翻訳などによる仮訳)

摘要

- ◆ (推進の背景) ASF 感染の有無を確認するため、全国全ての養豚農場を対象に段階的に精密検査(血液検査) *を実施。
 - *特別管理地域の養豚農場 (624 戸、5 月 31 日～6 月 11 日) →全国の食品残渣給餌農家 (257 戸、6 月 7 日～14 日) →全国放牧型農場 (35 戸、6 月 17 日～21 日) →密集飼育農場 (617 戸、6 月 17 日～30 日) →その他全国全ての農場 (4,896 戸、7 月 1 日～8 月 10 日)
- ◆ (精密検査の結果) 全国全ての養豚農場で ASF 精密検査実施の結果、全て陰性を確認。

□農林畜産食品部(長官:イゲホ、以下農食品部)は、ASFの予防のために5月31日から8月10日に推進した全国全ての養豚農場のASF精密検査(血液検査)の結果、全て「陰性」と診断されたと述べた。

○農食品部は、5月30日、OIEから北朝鮮におけるASF発生の事実を確認した後、ASFの予防のための最高レベルの防疫措置を推進し、特別管理地域(14市郡*)から全国の養豚農場を対象に段階的に検査を実施した。

*江華郡、甕津郡、金浦市、坡州市、漣川郡、チョルウォン郡、華川郡、楊口郡、麟蹄郡、コソソ郡、楊州市、高陽市、東豆川市、抱川市

- 特別管理地域内の農場、食品残渣給餌農場および放牧型農場、密集飼育農場、その他全国全ての農場の順に検査*を実施した。

*特別管理地域の養豚農場 (624 戸、5 月 31 日～6 月 11 日) →全国の食品残渣給餌農家 (257 戸、6 月 7 日～14 日) →全国放牧型農場 (35 戸、6 月 17 日～21 日) →密集飼育農場 (617 戸、6 月 17 日～30 日) →その他全国全ての農場 (4,896 戸、7 月 1 日～8 月 10 日)

□農食品部は今後もASF国内侵入の早期確認のために空海港で違法に搬入された携帯畜産物と野生いのしし対策、食品残渣給餌農家に対する検査を引き続き推進する計画*を明らかにした。

*野生イノシシ2800件の検査推進中(2019年)、養豚農場における日常的なASF検査予算確保の推進(2020年4億ウォン(約3500万円))

○併せて、養豚農家に対し、飼養豚を毎日臨床観察し豚が発熱や突然死するなどの疑い症状を示す場合は、防疫機関に直ちに報告するよう要請した。